

伊豆の国市教育大綱（令和5年度～令和7年度）

1 位置づけ

本大綱は、本市における教育、学術及び文化の振興に関する施策の総合的な推進を図るための基本方針であります。「第2次伊豆の国市総合計画後期基本計画（令和4年度～令和7年度）」に基づき、本市教育が目指す理念や方向性をまとめてあります。この大綱の方針を踏まえ、本市教育の一層の推進を図ることを目的に具体的な施策に取り組んでいきます。

2 方針

**夢と志を持ち、自分の可能性に挑戦できる教育
多様性が尊重され、思いやりあふれる社会の構築への貢献
ふるさとを愛する人の育成**

夢と志を持ち、自分の可能性に挑戦できる教育

- 誰一人取り残さず、一人ひとりが地域や国や世界で役割を担える力を育てます。
- 科学技術の進歩など、次代を見据え、不確実な時代を主体的、創造的に生き抜く力を育てます。
- 持続可能な社会の実現に貢献できる力を育てます。

多様性が尊重され、思いやりあふれる社会の構築への貢献

- 自分や他の人を大切にし、社会共通のマナーやルールを守って行動できる人を育てます。
- 人と人とのつながりを大事にし、支えあえる人を育てます。

ふるさとを愛する人の育成

- ふるさとの歴史・文化・伝統を学ぶ機会を創出します。
- 地域コミュニティ活動に参画し、貢献できる人を育てます。

3 重点施策

重点施策1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

- 誰もが自分に合った「学び方」を選び、意欲を持って学べる授業を展開します。
- 幼児期から英語に親しむ機会を創出し、国際理解教育の充実と英会話コミュニケーション能力の育成を図ります。
- ICT機器を積極的に活用し、「主体的・対話的な深い学び」を推進します。
- SDGsの目指す「誰一人取り残さない持続可能で多様性のある社会」を実現するための17目標を意識した教育活動を実践し、社会の一員としてより良い社会づくりに参画し行動する意識や能力を育成します。

重点施策2 生涯にわたる学びの充実

- 休日の中学校部活動の地域展開と同時に、生涯にわたりスポーツや芸術活動に親しむ機会の確保のため各種団体との連携を図ります。

重点施策3 「多様性社会」を生きる上で必要な資質と能力の育成

- 不登校やいじめ、虐待の未然防止と早期発見、早期対応が図られるよう指導や支援を行います。
- 一人ひとりの教育的ニーズに対応した特別支援教育が推進されるよう関係機関との連携を図ります。
- 「めざす子ども像」を共有し、保こ幼小中で一貫した保育・教育を推進します。
- 命を大切にする教育を推進するとともに、自分の命は自分で守る「自助」、互いに助け合う「共助」を理解して行動する意識を高めます。

重点施策4 社会性を身につける機会の充実

- スポーツ少年団や社会教育関係団体の活動を充実することで、人と人とのつながりを大切にし、マナーやルールを守ることの出来る人を育てます。

重点施策5 地域とともにある学校づくり

- コミュニティ・スクールの体制づくりを推進し、地域学校協働本部と連携しながら、学校・家庭・地域が一体となった防災・防犯・交通安全教育を通して子どもたちの健やかな育ちを支えます。

重点施策6 地域社会での活動への参画

- 地域に密着した活動により、地域の一員であることの自覚を促し、地域に貢献できる人を育てます。

重点施策7 地域の歴史・文化の保護と教育活動への活用

- 地域にある歴史・文化・自然の価値や魅力を理解する学習に取り組み、「郷土を誇れる人」づくりを進めます。
- 地域の歴史・文化を保護、研究、発信し史跡巡りや体験学習を効果的に行える拠点づくりに取り組みます。

重点施策8 安全で安心して学べる教育環境の確保

- 施設内の危険性のある部分の修繕、緊急度の高い修繕を速やかに行い、子どもたちが安心して学べる教育環境を整えます。

4 令和7年度 教育行政の体系

夢と志を持ち、自分の可能性に挑戦できる教育
多様性が尊重され、思いやりあふれる社会の構築への貢献
ふるさとを愛する人の育成

現代的課題への取り組み

- 1 心・体の健全な成長を促す、子どもを鍛える学校の推進
- 2 国際理解教育の推進と英語コミュニケーション能力の育成
- 3 コミュニティ・スクール制度の運用と充実
- 4 中学校部活動の地域展開に向けた取り組み
- 5 「架け橋プログラム」を活用した幼児教育から学校教育への接続
- 6 防災教育の充実と機能する危機管理体制の構築

保こ幼小中一貫「めざす子ども像」

- ・ 友だちの意見を聞ける子 自ら考え、判断し、表現できる子
- ・ あいさつができる子
- ・ 心身ともにたくましい子

確かな学力<知>

(保こ幼)

- 英語活動を楽しむ子
- 身近なことに興味を持ち、自ら活動し表現できる子

(小中)

- 主体的に英語に関わり、英語で表現し伝え合う子
- 他国の文化を認め、伊豆の国市の良さを伝えようとする子
- 課題を発見し、協力して解決していこうとする子

豊かな感性<徳>

(保こ幼)

- 友だちを思いやり仲良くできる子

(小中)

- 自己肯定感や有用感を持った子
- 命の尊さを理解し、他人に優しい子
- 自然を愛し、感動する心を持った子
- 正しく判断し、行動できる子

健やかな心身<体>

(保こ幼)

- 友だちと元気に遊ぶ子

(小中)

- 運動することを楽しみ、体を鍛える子
- 健康で安全な生活を送るため自己管理に気を配れる子
- 健全な食生活を理解し、実践する子
- 自助・共助の力を身に付けた子

<子ども、保護者、地域から信頼される伊豆の国市の教職員>

「確かな人権感覚、ゆるぎない授業改善への挑戦、不祥事根絶への強い意志」

3 令和7年度 保育・教育目標

<保育園>

園名	保育目標	重点目標
あゆみ保育園	明るく元気な子	友達と仲良く遊ぶ子
ひまわり保育園		楽しんで遊ぶ子

<こども園>

園名	保育目標	重点目標
にじいろこども園	明るく元気な子	遊びを楽しむ子

<幼稚園>

園名	教育目標	重点目標
富士美幼稚園	明るく元気な子	友達と仲良く遊ぶ子
共和幼稚園		伸び伸び遊びを楽しむ子
のぞみ幼稚園		思いを伸び伸びと表現し、友達と共に育ち合う子
田京幼稚園		友達と遊びを楽しむ子

<小学校>

学校名	教育目標	重点目標
長岡南小学校	何くそ みがけ つつしめ	みんなが楽しい学校
長岡北小学校	よりよいかかわり よさを発揮できる子	仲間とともにチャレンジしよう ～認め合い 支え合い 高め合い～
菰山小学校	心豊かに 創造する	認め合い 共に挑戦しよう！
菰山南小学校	ともに高め合う きららの子	進んで学び合う子 思いやりのある子 心と体を丈夫にする子
大仁小学校	ひたむきに しなやかに がんばる人	自分の考えを表現する人 自分も相手も大切に 最後までやり抜く人
大仁北小学校	未来をひらく たくましい北っ子	自分もみんなも大切に する子

<中学校>

学校名	教育目標	重点目標
長岡中学校	たくましく しなやかに	自ら選択・決定し、行動する生徒 粘り強く学び、豊かに表現する生徒 自他を大切にする生徒
菰山中学校	自主・自立	自ら考え、判断・決定し、行動する生徒
大仁中学校	夢を拓く	自ら問い、考え、表現できる生徒

6 令和7年度 取り組みの具体

(1) 魅力ある学校づくり

- ① 子どもを鍛える学校
「心理的安全性」が保たれた学習環境のもとで、「主体的・対話的・深い学び」をキーワードとして、子どもの心・体の健全な成長を促す授業を実践します。また、ICT 機器を活用した「個別最適な学び」「協働的な学び」を追究します。
- ② 国際理解教育の推進と英語コミュニケーション能力の育成
ALT（外国語指導助手）や海外の友好都市との交流を推進し、多様な文化に接し国際理解を深めるとともに、主体的に英語にかかわり、英語で表現し伝え合う子を育成します。
- ③ コミュニティ・スクール制度の運用と充実
小中学校全校でコミュニティ・スクールを導入し、学校運営協議会と地域学校協働本部の運用の充実を図ることにより、学校の教育課題解決に向けて総がかりで取り組みます。また、「地域の子供は地域で育てる」という教育風土の醸成と定着を図ります。
- ④ 中学校部活動の地域化に向けての取り組み
部活動の今まで果たしてきた教育効果、生徒にとっての居場所、教員の働き方改革、生徒・保護者の部活動への思い等を念頭に、伊豆の国市の部活動の在り方を検討し改善を進めていきます。
- ⑤ 園、学校間の相互理解と連携
「めざす子ども像」を共有し、保こ幼小中一貫教育を推し進めるとともに、幼児教育と学校教育をつなぐ「架け橋プログラム」の理解を深めます。
- ⑥ 防災・防犯教育の充実と危機管理体制の整備
 - 豪雨災害、巨大地震災害への対応を再確認し、危機管理体制の充実を図ります。
 - 災害や事故から命を守る教育を推進します。
- ⑦ 不登校の未然防止と早期対応
子どもの心に寄り添うことを第一とし、不登校の未然防止並びに迅速な対応のできる組織の構築を図ります。
- ⑧ 情報教育の推進
ICT 機器の授業への積極的な活用を図るとともに、ツールとしての活用方法の研究を進めていきます。また、情報モラルの浸透に努めます。
- ⑨ きめ細かな指導の充実と読書活動の推進、読書活動の充実
 - 学習及び特別支援教育の支援員の配置によるきめ細かな指導の充実に努めます。
 - 学校図書館への司書の配置とともに、校長を学校図書館長と位置付け、学校図書館の充実及び利用促進を図ります。
- ⑩ 環境教育の推進
SDG s を念頭に、環境教育の充実を図ります。

(2) 一人ひとりの個性が輝く生涯学習社会の創造

- ① 生涯学習の充実
生涯学習社会の基盤を創るとともに、世代間交流を通して次代を担う人づくりを推進します。

ア 生涯学習

- 市民の生涯にわたる多様な学習意欲や時代背景に対応した各種学級、講座及び講習会の開設並びに内容の充実を図ります。
- 青少年育成活動、防災教育、健康福祉学習等を通して、次代を担う人づくりを推進します。
- 子どもたちの世界観を広げる世代間交流、国際交流を実施します。

イ 図書館

- 中央図書館、葦山図書館の図書館機能の充実を図ります。
- 図書館の利用者サービスの向上及び地域の情報拠点としての機能充実にさらに推進します。
- 他市町図書館との相互利用を積極的に推進します。
- 資料等の整備・充実を図ります。
- 図書館活動のPR、読書の啓発及び図書館の利用を促進します。
- 電子図書館の普及と啓発を図ります。
- 読み聞かせボランティア団体の育成と事業の充実に努めます。

② 生涯スポーツの推進

成人の「1週間に1回以上はスポーツをしている」という割合を高めるとともに、各種団体と連携し生涯スポーツを愛好する市民を増やすことに努めます。

ア 各種団体等への支援

- スポーツ協会、スポーツ少年団の育成指導と地域ぐるみの自主活動の支援を推進します。

イ スポーツ指導者等の育成

- 指導者向けの講演会や研修会等の開催によるスポーツ指導者及びリーダーの育成と資質向上に努めます。

ウ 各種教室の企画・開催

- 市民が気楽に参加でき、楽しさ溢れる地域スポーツの振興や市主催のスポーツ大会、レクリエーション教室を企画、開催します。

エ 各種団体との連携

- スポーツ協会、スポーツ少年団との連携と、スポーツを通じた青少年の健全育成並びに競技力の総合的な向上に努めます。

オ 施設設備等の充実

- 安全で安心してスポーツができる環境の確保
- 各スポーツ施設の効果的な整備、参加機会を増やす施設開放などの研究と推進を図ります。

(3) 歴史・伝統文化の保護と継承 地域の魅力となる文化の創造

① 歴史資源の保護・活用

伊豆の国市に散在する多くの遺跡並びに出土品等の文化財を、後世に伝えていけるよう計画的に保護していきます。

ア 文化財の保護

- 葦山反射炉をはじめとする郷土の貴重な歴史資源である文化財の保護と継承に努めます。
- 必要な調査研究並びに保全措置の実施に努めます。
- 広く市民への啓発活動の推進を図ります。

② 郷土史研究の推進とふるさと意識の醸成

伊豆の国市文化財展示施設（令和8年5月開館 仮称）の有効な活用を研究していきます。また、市民に対する伊豆の国市の歴史への理解を深め、ふるさと意識の醸成します。

ア 伊豆の国市郷土資料館において、郷土資料の企画展示等の実施や歴史資源の魅力に関する情報の発信

- 郷土資料館から文化財展示施設への移行内容の検討をします。
- 地域の歴史資源に触れる機会を積極的に提供します。
- 文化財展示施設の活用方法の検討と広報を図ります。

（４）安全で安心して学べる教育環境の確保

- 教育施設の空調設備や照明のLED化も既に整備を進めています。
- 「伊豆の国市公共施設等総合管理計画」及び「伊豆の国市教育施設整備計画」との整合を図りつつ、老朽化対策や長寿命化を基本方針として施設整備を推進します。
- 建築的要素（窓や外壁、屋根防水など）を中心に、快適性と安全性を高める改修を計画的に実施します。
- 省エネルギー化や環境負荷低減に資する設備更新を進め、将来にわたり安全かつ安心して学ぶことのできる教育環境の確立を図ります。